委員意見及び回答 (子ども・子育て会議)

項番	内容	回答
	P32 「他市町村」の7.9%が数字的に多いのか少ないのか。どんなふうに比べたらいいのか。他市との違いが分かる資料はあるのか。他市の方が岸和田市を利用しているのが分かる資料はあるのか。	他市の利用状況について、認可施設の部分でしたら広域利用と言うことで利用調整させていただいておりますので、そこのところは市の方で把握はできております。
2	他市の子ども・子育て会議でのアンケート調査で「他市に行っている」というデータはあ るのか。	同様の調査を他市も調査を行うが、本市は泉南 地域で見ると早く行っているため、他市の結果 はまだ出ていない状況になります。他市の結果 が出て、参考にしていただけるものがあればお 示しさせていただきたい。
3	かりにくい部分がある。何か比較できるポイントがあるのかという点で、例えば、P30の「現在使っている」部分とP41の「こう使いたい」部分を比較すれば分かりやすいのではないか。今後どの地域に確保していくのかという部分について、どこを見ると分かりやすいのか。	5月の会議で量の見込み(案)をお示しさせていただく予定。作業の手引きがあり、国基準と市独自の案を出させていただく予定。どういった反映をしているかという部分も含めた形でさせていただきたい。
4	P52、P53で「利用したくない」とか「知らない」という部分がある。せっかく施設があるのにうまく周知できてないという部分があるということであった。周知する策を考えていただきたい。	
5	P44、P45の利用者の満足度を測る部分で、5年間、子ども・子育て会議で計画を立てて施設をたくさん作ってきましたとなって、今回10%くらいの方が行きたいところに行けるようになった。今度、計画を立ててもどこまで伸びるのかということになる。その地域にどれてらい施設が必要なのかという議論をさせてもらっている。必要なエリアに増やすことができないから違うエリアに預けにかかざるを得ない、という実態が残っていることに増っている。前回の計画は利用者を増やそう、子どもの支援をしよう、ということで量を増大いというニーズを満たしていくのではないかと思っているので、計画案として5年間でおいというニーズを満たしていくのではないかと思っているので、計画をして5年間になると、その利用者がそこででだれくらい増やすのかという国の基準と、市が持っている基準を使っていくら増していかかきはいいかが、利用者が本当に行きたい場所に作ったならば、どういう計画になって計画を出すのか、利用者が本当に行きたい場所に作ったならがない、施設がないのか希望のある計画とどれるいだれるのかを知りたい。場所がない、施設がないという計画を目が考えるべきものだと思う。形だけでは良くない。利用者が満足してその施設を利用するべきものと思っている。その辺を計画の中で盛り込んでいく必要がある。	
	児の受入れを幼稚園でするのか、保育所でするのかという部分を計画に盛り込めればいい と思う。	
	P14の「相談できる相手」の部分で、何でもかんでもネットで検索して情報を得る若い人達	質問では「相談」の部分が低く出ることもあろうかと思います。相談する手段の部分の確認は出来ていないが、この部分は決められた項目でした。「手段」の部分では項目を設けることはできたのではないかと思います。
9	総合通園センターのパピー、いながわの部分では計画に含まれるのか。ニーズは確認できているのか。また親への支援の分もあると思うが、含まれるのか。	利用実績も鑑みながら、今後どの程度計画に盛り込めるのか、総合的に考えていけるのか、調整させていただき、報告させていただきたい。
10	国でいう計画と市が思っている計画と本当にそこの地域で必要な利用量の計画の3つを出してもらって、でも岸和田市はここまでしかできないんだということになるんだと思うが、利用者の満足度を考慮した計画を出してもらわないと岸和田市の水準が高いのか低いのかが読み取れない。より良い制度にしていくための素案ということなので、そういう計画案にして欲しい。	